



みなみせや

12月号

未来を創っていくエネルギーを

校長 藤田 優

「未来日記」

朝会で、未来日記を書き続けて夢を叶えた人の話をしました。「〇〇になりたい」とただ願望をもつだけではなく、日記に「〇〇になれました。ありがとうございます。」と、夢を実現した未来から、そこまで頑張ってきた自分に書くものです。それを毎日毎日書いていた。毎日書くことで、日々の行動も意識しないところで変容していったのでしょうか。何をすれば少しでも近づけるか、知らず知らずのうちに選んでいたのかもしれませんが。すごいことです。

よかったらみんなも書いてみましょう、と呼びかけたところ、たくさんの未来日記が集まりました。いくつか紹介します。

みずに もぐれるように なりました。
ありがとうございます。
1年

自分の書いた小せつを 大人気になりました。
ありがとうございます。
2年

今わたしはデザイナー になりました。
ありがとうございます。
3年

動物のおいしゃさんになれました。
ありがとうございます。
4年

プロゲイマーになりました。
ありがとうございます。
5年

ぼくはゲーム会社を設立し社長になりゲームを作り発売する事ができました。誠にありがとうございました。幸せです。 6年

「未来を創るエネルギー」

これからきっと良くなる。未来への希望が伝わってきます。人は一人では生きてはいけないので、人とのつながりに安心感があると希望を抱きやすくなります。一人ひとりが安心して生活していけること、その結びつきには信頼の雰囲気があることでしょう。

子どもたちの社会生活はまだ範囲が狭いので、身近にいる大人たちが、安心感＝信頼の雰囲気を与えていく責任を負っています。「子どもとかかわる大人は、全人類の代表としてその子どもに接していることを忘れてはならない」と説いている学者もいます。*

このような世の中の状況だからこそ、安心、信頼といった未来を創るエネルギーを大事にしていきたいものです。

*オッター・フリードリヒ・ボルノウ「人間の棲み家」

欠席等連絡メールをご活用下さい！

*昼夜問わずご利用でき便利です。



